

適正な学校規模により、豊かな 笹川の教育をすすめます

ささがわ
きょういく
笹川の教育

1

キャリア形成

連携型一貫教育により

社会で通用する「生きる力」を育む

みずか
自らキャリアを形成していく力の育成

統合して1小1中となることで、笹川地区の保幼小中の連携をより一層深めます。それでの育ちの段階で身に付ける力が、将来、社会で通用する「生きる力」へつながるよう、11年間の一貫した教育により、笹川っ子のキャリア形成を促します。



キャリア・職業教育

ようほ
幼・保 ◆人間関係の基盤を形成

しょうがっこう
小学校

◆地域への社会参画力の育成
◆笹川地域活動→自発的・自主的な参加
→自己有用感の醸成

ちゅうがっこう
中学校

◆進路の自己決定
◆職業観・勤労観の確立
◆笹川地域活動→自ら企画し、実践する

西笹川中学校は、平成28年度に第10回
キャリア教育優良学校として表彰されました。(文部科学大臣表彰)



ささがわ
きょういく
笹川の教育

2

えいご
英語教育

英語を強みに！

グローバル化する社会で
力強く生きる「笹川っ子」を育てる

ささがわ
かんきょう
い
えいご
りょく
英語をかんきょうして英語コミュニケーション力を育成

にじょう
日常から多くの外国人の子どもたちとともに
がっこせいかつおくささがわちくいんかりかい
学校生活を送る笹川地区では、異文化理解に
すぐひょうじょう
優れ、表情やジェスチャーなどのコミュニケーション能力が自然に身に付いています。その強み
のうりょく
シヨウ
シヨウ
を生かし、発達段階に応じた学習プログラムを
とお
通して、グローバル化する社会に出ても通用する
えいご
りょく
英語コミュニケーション力を育みます。



ささがわ
まな
笹川に学び
ささがわ
まな
笹川を愛し
ささがわ
あい
笹川とともに歩む子

きょうかしどう
教科指導と日本語指導を統合して
にほんごしどう
とうごう
こ
がくじゆく
こうじょう
すべての子どもの学力を向上させる

すべての子どもたちの「学ぶ力」を育む

「JSLカリキュラム※」を活用して、やさしい日本語、
ぐだいてき
具体的な指示や発問、視覚的な支援、学習用語を使う活動
など
などを取り入れた授業づくりをすすめます。

この授業により、外国につながりのある子どもたちだけではなく、すべての子どもたちに各教科の指導内容の確実
ていちゃく
はか
まな
はぐく
な定着を図り、「学ぶ力」を育みます。

※JSLカリキュラム… 授業を受けながら教科の学習用語などの日本語も習得していく手法



ささがわひがしそう
笹川東小・笹川西小とも、「独立行政
ほうじんきょうしきくいんしんきこう
法人教職員支援機構 平成30年度
にほんこじどうしどうしゃよせいけんしゅう
じっせんせんしんこう
日本語指導指導者養成研修」の実践先進校として
せんにく
おお
せんせい
しきつ
き
全国から多くの先生が視察に来ました。

まなあ
「学び合い」と少人数指導による学力向上

りょうじょうがっこう
とく
まなあ
しょうにんすうしどう
がくじゆくこうじょう
のなかまと協働して学ぶことで、新しい考え方や方法に気づくことができ、子どもたちの深い学びにつながります。

りょうじょうがっこう
けんきゅう
しょうにんすうしどう
しゅうじゆくどべつ
たよう
また、両小学校が研究してきた少人数指導では、習熟度別など多様なクラス
わ
分けによる、きめ細かい指導が実現します。

たぶん
かきょうせい
かんきょう
多文化共生の環境で

ゆた
こくさい
かんかく
はぐく
豊かな国際感覚を育む

たよう
ぶんか
かんきょう
こくさいかんかく
ささがわ
こ
はぐく
多様な文化や生活習慣を持つ仲間が、同じ小・中学校で9年間

を過ごすことは笹川地区の強みです。

とも
まな
なか
さまざま
こせい
いげん
ふ
あ
しゃかせい
ニケーション力が高まります。

じぶん
ささがわ
あいぢやく
ほこ
も
こくさいかんかく
自分が住むまち「笹川」に愛着と誇りを持ち、国際感覚あふれる笹川っ子を育みます。

ささがわ
きょういく
笹川の教育

3

がくじゆくこうじょう
学力向上



ささがわ
きょういく
笹川の教育

4

たぶん
かきょうせい
かんきょう
多文化共生



がっこう ちいき かく ささがわ 学校を地域コミュニティの核とした笹川のまちづくり

ちいき がっこう そだ がっこう ちいき げんき
地域が学校を育てる 学校が地域を元気にする

がっこう ちいき かく ちいき こ そだ ふうど じょうせい
学校が地域コミュニティの核となり、地域で子どもを育てる風土がさらに醸成されます。

ちいき れんけい がっこうきょういくかつどう ゆた ひろ がっこう かか ちいき げんき
地域との連携で学校教育活動が豊かに広がり、また、学校との関わりで地域が元気になります。

あたら がっこう えがお ささがわ ちゅうしん
新しい学校は、ふれあいと笑顔あふれる笹川のまちづくりの中心となります。



ちいき ほごしゃ
地域・保護者の
学校教育への参画

ふれあいと生きがいのある
元気なまちづくり

たよう ひと
多様な人とのかかわり
ゆた にんげんせい
豊かな人間性
しゃかいせい いくせい
社会性の育成



がっこう かてい ちいきかだい
学校・家庭・地域課題の
きょうつうり かい
共通理解

みんなでつくる笹川のまち



はっこく 発行
ささがわひがしうがっこう ささがわにしうがっこうとうごうじゅんびいいんかい
笹川東小学校・笹川西小学校統合準備委員会

平成30年9月

じむきょく 四日市市教育委員会 教育総務課 政策グループ
よっかいちしきょういくいいんかい きょういくそうぶく せいさく
四日市市諒訪町1番5号 四日市市役所9階

電話 059-354-8237 (直通) FAX 059-354-8308

Eメール kyouikusoumu@city.yokkaichi.mie.jp

ホームページ <http://www.city.yokkaichi.lg.jp/www/index.html>

へいせい ねん がつ
平成31年4月

ささがわしうがっこう 笹川小学校が 誕生します

へいせい ねん がつ ささがわ ちく
平成31年4月、笹川地区に「笹川小学校」が開校します！

あたら う ささがわしうがっこう ささがわひがしうがっこう ささがわにしうがっこう
新しく生まれる笹川小学校は、笹川東小・笹川西小の歴史と個性を融合し、適正
な学校規模で豊かな教育を実現するとともに、多文化共生の環境で国際感覚豊かな
笹川っ子を育みます。子どもたちの新しい学びの場として、ふれあいと笑顔あふれる
笹川地区のシンボルとして、新しい笹船の出航です！



◆学校の概要(平成31年4月推定)
児童数 約480人
通常学級 16学級

これまでの経緯

しょうわ ねん ささがわだんちかんせい ささがわ ちく こ かず ふ しうわ ねん
昭和43年、笹川団地完成とともに笹川地区の子どもたちの数は増えづけ、昭和48年
には、笹川東小学校が四郷小学校から分離して開校、昭和50年には、笹川西小学校が笹
川東小学校から分離して開校しました。その後、昭和50年代後半から児童数は減少に
転じ、現在はピーク時の約1/4となっています。

へいせい ねん がつ はじ ささがわ ちく あたら がっこう けんとうかい へ へいせい
平成28年1月から始まった「笹川地区における新しい学校づくり検討会議」を経て、平成
29年5月、教育委員会が「平成31年4月に、笹川東小学校と笹川西小学校を、現在の笹
川東小学校の地に統合する」方針を決定。これに基づき、同年7月から「笹川東小学校・
笹川西小学校統合準備委員会」によって、新しい学校の校名や校歌、通学路の安全対策、施設
整備など、開校に向けたさまざまな準備をすすめました。